

問題

以下の説明文のかっこの空欄に、それぞれ正しい文の組み合わせの記号を語群から番号で選び文章を完成させよ。正しい記号が複数存在する場合は該当するすべての文を選ぶこと。同じ記号を複数回用いてよい。

説明文：グリーディ法は(1)というアルゴリズムであるが(2)手法である。動的計画法は(3)というアルゴリズムであるが(4)。

(1)の空欄に入る文

- a. すべての解を効率よく列挙する
- b. アルゴリズムの実行途中において全体的なことは考えず、局所的に最良の解を選択する
- c. 入力をいくつかの部分問題に分割し、各部分問題を再帰的に解く
- d. 問題を部分問題から解き、その解を記録しておいて再利用する

(2)の空欄に入る文

- a. つねに最適な解が得られる
- b. つねに最適な解が得られる問題もあるが、そうでない問題もある
- c. 最適な解は得られない
- d. どんな問題にも運用できる

(3)の空欄に入る文

- a. すべての解を効率良く列挙する
- b. アルゴリズムの実行途中において全体的なことは考えず、局所的に最良の解を選択する
- c. 入力をいくつかの部分問題を分割し、各部分問題を再帰的に解く
- d. 問題を部分問題から解き、その解を記録しておいて解く

(4)の空欄に入る文

- a. 一度計算した値はすぐに削除する
- b. 0-1 ナップサック問題に対してつねに正しい解が得られるとは限らない
- c. どんな問題にも適用できる手法である
- d. 処理の高速化のための手法である

語群

1. a
2. b
3. c
4. d
5. a と b
6. a と c
7. a と d
8. b と c
9. b と d
10. c と d
11. a と b と c
12. a と b と d
13. a と c と d
14. b と c と d